

高1国語

オンライン授業の実施について

保護者の皆様

いつもお世話になっております。一斉メールでもご案内いたしました通り、「高1国語」クラスも4月度の2回の授業をオンラインにて実施することとなりました。オンラインでの受講は、おそらく多くのお子様にとって初めての経験かと存じます。対面式での授業とは異なる部分もございますが、できる限り普通の授業に近付け、お子様が楽しく学習に参加できる機会を弊社で引き続き提供できればと考えております。ご家庭の方々にご協力をお願いする部分もあるかと存じますが、どうぞ引き続きよろしく願いいたします。

担当 山谷

なお、オンラインでの授業実施にあたり、「高1国語」では講義形式でノートを取りながらの授業を行う予定でございます。そのため、授業前には以下のご準備をお願いいたします。また、添付のPDFについては、印刷は必須ではございません。携帯電話等の小さい画面で授業を受けられる方は、印刷または事前にノートにメモしておくなどすると、取組みやすいかと思っておりますのでご活用ください。

【授業で使用するもの】

筆記用具、ノート等書き込みができるもの

動詞 (1)

氏名

実施日

月 日

/100

◆本誌P.8～P.13

1 次の動詞について、(例)にならって活用表を完成させよ。

(完答各4点＝24点)

活用の種類	語幹	未然形	連用形	終止形	連体形	已然形	命令形
(例)	書く	カ行四段	書	か	き	く	け
(1)	往ぬ	ナ行変格					
(2)	射る	ヤ行上二段					
(3)	経	ハ行下二段					
(4)	過ぐ	ガ行上二段					
(5)	植う	フ行下二段					
(6)	老ゆ	ヤ行上二段					

2

次の動詞を(例)にならって、指定された活用形に活用してひらがなで答えよ。

(各4点＝32点)

(例) 「あり」の連体形

(1) 「見る」の連用形

(2) 「死ぬ」の已然形

(3) 「蹴る」の連用形

(4) 「おはす」の連体形

(5) 「来」の未然形

(6) 「をり」の連体形

(7) 「居る」の命令形

(8) 「いますがり」の未然形

(例)	ある	(1)		
(3)		(4)		
(6)		(7)		
		(5)		
		(8)		

3 次の各文中の()内の動詞の基本形を、(例)にならひくゝ内の指示に従って活用して答えよ。

(各4点=16点)

- (例) この尻(蹴る)。
 〈カ行下二段活用・命令形〉
 (1) ここにて命を断たんこといはしければ、(助く)なり。(浦島太郎)
 〈カ行下二段活用・連体形〉
 (2) やすらかに読みたるこそ、あれがやうに何時の世にあらむと(おほゆ)。(枕草子)
 〈ヤ行下二段活用・已然形〉
 (3) いとみじう騒ぎのしりて門さしつ。(死ぬ)なりけり。(大和物語)
 〈ナ行変格活用・連体形〉
 (4) あたなりと名にこそ(立つ)れ桜花年にまれなる人も待ちけり(古今集)
 〈タ行四段活用・已然形〉

(例)	蹴よ	(1)	
(3)		(4)	
		(2)	

4 次の各文中の傍線部の動詞の活用表を、(例)にならつて完成させよ。

(完答者4点=28点)

- (例) 行きて火ともして来よ。(宇治拾遺物語)
 ① 朝に死に夕べに生まるならひ、ただ水の泡にぞ似たりける。(徒然草)
 ② 見れば、率て来し女もなし。足ずりをして泣けどもかひなし。(伊勢物語)
 ③ 必ずよく四時に似たるを用ゐよ。(為兼卿和歌抄)
 ④ をる人だにたはやく見るまじきものを…(竹取物語)
 ⑤ ⑥ ⑦

	活用の種類	語幹	未然形	連用形	終止形	連体形	已然形	命令形
(例)	カ行変格活用	○	こ	き	く	くる	くれ	こゝよ
①	行	活用						
②	行	活用						
③	行	活用						
④	行	活用						
⑤	行	活用						
⑥	行	活用						
⑦	行	活用						

